



レジ袋の三角巾 どこでも好評 各地で防災訓練に参加

8月31日(日)、今年も各地で総合防災訓練が行われ、本会会員30名が地域での役割にしたがって熱心に活動した。日用品を使った応急救護の実践指導では、レジ袋に切込みを入れて作った三角巾がどこの会場でもとくに好評で、集まった住民らの反響が大きかった。



中村区では河村たかし市長が森川会長の説明に熱心に耳を傾け、中川区では岡本善博市議員が肘固定のまま会場を練り歩くパフォーマンスまで見られた。

河村市長に説明をする森川会長

平成26年度県民総ぐるみ防災訓練

碧南市

南海トラフを震源とする巨大地震による大津波に備えて、県と碧南市の大規模な防災訓練が碧南市沿岸部で行われ、警察や消防、自衛隊など77の機関と、住民など参加者1万人が一時避難所や高い建物への避難や救助、救護の訓練を行った。



午前8時30分、震度7の巨大地震が発生し直後に大津波警報が出たとの想定で訓練を開始。メイン会場の玉津浦グラウンドでは、住民の避難訓練、倒壊した建物からの救助、ヘリコプターによる引き上げなど本番さながらの緊迫した訓練が行われた。会場の一角に日赤、医師会、DMAT、県歯科医師会・薬剤師会、

柔道整復師会によって応急救護所が開設され、応急救護とトリアージ訓練を実施した。

本会は事業部河合一弘会員を中心に4名で要救護者の搬送を担当した。特殊メイクで生々しく怪我を模した要救護者をトリアージ Tentへ再搬送するという手順で行われた。次々に運び込まれる要救護者で騒然とした応急救護所の中を、日赤や自主防災会と協力して迅速な搬送を行った。

サブ会場の大浜小学校では、藤川和秀本会副会長、小林弘治事業部長を中心に6名で日用品を使った応急救護指導講習を行った。一時避難所に指定されている同校体育館に200名の親子が集まり、レジ袋を三角巾に、ペットボトルや雑誌を副木に、食品ラップを包帯に代用して、患部を固定する方法やシーツと物干し竿で応急担架を作る方法などを講習した。受講した住民からは「いざという時、これは役に立つね」と好評を得た。

最後に大村秀章県知事から、「陸海空が連携する熱のこもった訓練だった。市民が防災意識を高めることにつながった」と講評があった。

(支部広報担当 神谷 昇)

平成26年度なごや市民総ぐるみ防災訓練

名古屋市

名古屋市では毎年2区が基幹区となって訓練を行なう。今年では中村区と中川区が選ばれ、それぞれ森川伸治会長と長谷川貴一副会長も出席し、5会員ずつが訓練に参加した。

中村区は日比津小学校グラウンドで実施され、本会会員は地域住民20名ずつ数回、延べ100名近くの地域住民に対して応急救護の説明・実技を実施した。

中川区は区西部の富田公園で、消防音楽隊が奏でる「ゴジラのテーマ」



とともに9時15分、区土木事務所の障害物除去訓練から訓練が開始された。本会会員は10時5分から、巡回型訓練の1ブースとして地域住民約30人に対し、応急救護の実践指導を行った。

岡崎市地域総合防災訓練

岡崎市

岡崎市立連尺小学校にて岡崎市地域総合防災訓練が開催された。岡崎支部は平成23年に岡崎市と防災協定を結び、岡崎市会員を緊急対応に備え地域ごとに5班に分けており、今回は担当地域の第3班の4名と大竹康範地区長の計5名の会員で、学区住民(約700名のうち約100名)を対象に応急救護訓練を指導した。

今回重点を置いた「レジ袋を使った腕の応急固定法」では小林 修会員に対し応急固定を実際に施行し、それを手本として訓練参加者に指導した。前半は円滑な対応が課題となったが、後半は役割分担等を修正し、応急救護訓練指導を全うした。

今回、防災訓練を円滑にして頂いた岡崎市防災訓練関係者の皆様、大竹康範地区長、本会・小林弘治事業部長に心より御礼申し上げます。

(作田新之助・岡崎)

天白区

天白区総合防災訓練

8月31日(日)午前8時30分から11時まで、植田北小学校グラウンドにて恒例の防災訓練が行われた。今回は台風の心配もなく予定通り実施され、区医師会や社会福祉協議会、警察や消防署、区役所や保健所とともに、鶴舞支部から4名が参加し、地域住民約20名に対して日用品を使った応急救護のレクチャーを行なった。



(報告 丸谷康男・鶴舞)

防災訓練準備会

8月29日(金)、小林事業部長の進行と事業部員主導で防災訓練準備会が開催された。

各地域の防災訓練参加者20名余が会館に集まり訓練の事前説明を受け、日用品を使った応急救護方法を練習・確認。活動に必要な道具など一式をそれぞれ持ち帰り、二日後の本番に備えた。



柔道整復師卒後臨床研修指導者のための技術講習会 開催

8月24日(日)、午前10時から午後4時まで、上記講習会が開催された。これは卒後臨床研修施設としての受け皿となる東海4県の登録接骨院を対象に、公益財団法人柔道整復研修試験財団が主催したもので、北海道・福岡に次いで3回目の開催となる。

愛整会館には定員いっぱいの50名の対象者が参加し、米田忠正 日本柔道整復接骨医学会副会長の開講挨拶に続き、以下について学んだ。

- 講義 第一東京弁護士会副会長 櫻井喜久司先生 「柔道整復師のためのリスク管理」
- 基本技術講習 米田柔整専門学校副校長 船戸嘉忠先生
- 講義 財団代表理事 福島 統先生 「卒後臨床研修の意義及び研修指導法」



Welcome!! 新入会員

氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
久保哲也	S55.4.18	豊橋	米田柔整	弐段	釣り
館 利幸	S56.12.27	大曾根	米田柔整	—	バスケットボール
鏡味拓樹	S60.11.16	大曾根	名古屋福祉	初段	サッカー

久保哲也会員

館 利幸会員



鏡味拓樹会員